



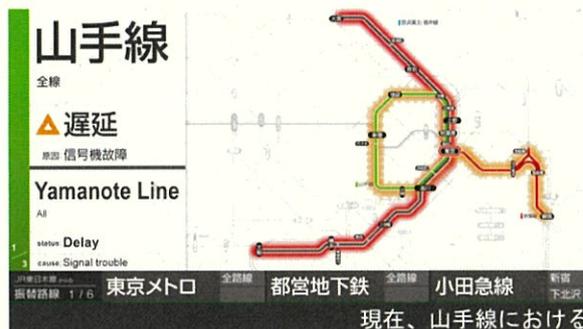
2021年10月20日  
東日本旅客鉄道株式会社

## 「2021年度 グッドデザイン賞」の受賞について

JR東日本グループでは、2021年度 グッドデザイン賞において【WATERS takeshiba】・【鉄道の運行異常時における旅客案内/異常時案内用ディスプレイ】・【リノベーションによる多世代居住の場づくり「リエットガーデン三鷹」】・【鉄道高架下の商業空間「日比谷 OKUROJI」】・【コンポストで始まる循環の生活実装デザイン】の5件がグッドデザイン賞を受賞しました。



WATERS takeshiba



現在、山手線における  
鉄道の運行異常時における旅客案内/  
異常時案内用ディスプレイ



リノベーションによる多世代居住の場づくり  
「リエットガーデン三鷹」



鉄道高架下の商業空間  
「日比谷 OKUROJI」



コンポストで始まる  
循環の生活実装デザイン

- ※【WATERS takeshiba】は当社と㈱JR東日本建築設計の共同受賞です。
- ※【鉄道の運行異常時における旅客案内/異常時案内用ディスプレイ】は当社と㈱日立製作所の共同でグッドデザイン・ロングライフデザイン賞を受賞しました。
- ※【リノベーションによる多世代居住の場づくり「リエットガーデン三鷹」】は㈱ジェイアール東日本都市開発と㈱リビタ、㈱成瀬・猪熊建築設計事務所、㈱長谷エリフォームの共同受賞で、グッドデザインベスト100に選出されました。
- ※【鉄道高架下の商業空間「日比谷 OKUROJI」】は㈱ジェイアール東日本都市開発の単独受賞です。
- ※【コンポストで始まる循環の生活実装デザイン】は㈱オレンジページの単独受賞です。

■ **【WATERS takeshiba】**は、JR 浜松町駅

から徒歩6分にある、オフィス、ホテル、店舗、劇場からなる複合施設で、東京の新たな水辺のあり方を提供しています。

「レイヤード・テラス／現代の庭園建築」をデザインコンセプトとして、広場を中心に屋外テラスを水平・垂直に展開しつつ建物内部と連続させ、東京湾・浜離宮が眼前に広がる稀有な立地条件を生かし、豊かな自然環境と賑わいを敷地全体へ拡張しています。水辺に面して多様な賑わいを創出していること、舟運拠点や干潟再生など東京の新たな水辺空間の可能性を牽引する役割を担っていることが評価されました。



【グッドデザイン賞審査委員 評価コメント】

東京湾と接続する類まれな立地条件を生かすため「つぎの豊かさを生みだすまち」というビジョンのもと、水辺に面して多様な賑わい機能を創出。加えて、舟運拠点や干潟再生の整備を行うなど、東京の新たな水辺空間の可能性を牽引する役割を担っている。東京オリンピックの通常開催が、この役割を国内外に向けて広く披露できる好機であったが、コロナ禍でソーシャルディスタンスを保ちながら地域の人々が寛いで過ごしている姿もまた、東京の水辺空間が担うべき大切な役割の一つになるであろう。新たに整備された干潟がゆっくりと東京湾に馴染んでいくように、人と水辺の関係性を再構築するための長期的な視点にたったエリアマネジメントにも期待したい。江戸と現代をつなぐ水辺の建築庭園という素晴らしい文化的概念が、長い時間軸と広い空間軸によって生まれ、東京の新たな環境基盤へと成長してほしい。

■ **【鉄道の運行異常時における旅客案内/異常時案内**

**用ディスプレイ】**は、駅の改札付近での異常時における情報提供を充実することを目的に導入され 320 駅 456 改札（2021 年 4 月現在）に展開しています。本システムの導入により、これまで音声とわずかな文字テロップのみで伝えていた異常時における情報を、動的に変化する運行情報を活用しデジタルサイネージにグラフィカルに表示させることで、お客さまが短時間で状況を把握することが可能となり、その機能性が評価



され 2007 年度にグッドデザイン賞を受賞しました。その後も、ホームページや JR 東日本アプリなどへ情報を提供するなど、幅広くお客さまにご利用いただけるシステムとして成長し続けております。導入から 14 年が経過しましたが、この間、公共交通機関を利用されるお客さまにとって重要なインフラとして認識されたことや、全国の鉄道事業者 17 社が同様の方式を導入するなど、広く社会にその技術を還元してきたことがロングライフデザインとして評価されました。

【グッドデザイン賞審査委員 評価コメント】

日本の鉄道は海外の人からも”正確さ”で多く評価される、日本を象徴する技術が現れた領域の一つである。多くの人々が利用する鉄道分野においては、ICT やスマートなどの技術が、その名前が付くより前から導入されてきたように思う。安全運行のために、社会インフラを司る責任として、その技術が社内の運行・安全管理だけではなく、すべての利用者へと、音声や文字ではなくひと目で分かるインターフェイスとして還元されたことには様々な努力があったのだろう。時代とともに SNS との連携やアプリ連動など、多くの時宜に適したアップデートを実施し続けることは、まさしくロングライフデザインである。

■【リノベーションによる多世代居住の場づくり

「リエットガーデン三鷹」は JR 東日本の旧三鷹社宅及び旧社員寮を改修した 24 戸の家族向け賃貸住宅と 112 室のシェア型賃貸住宅による多世代居住施設です。鬱蒼と生い茂った藪を切り開き、地域住民が利用できるシェア畑や通り抜けを作り、内装デザインを洗練させることで、都会と田舎の良さを併せ持つ敷地に相応しい豊かな「ラーバン・ライフ」を実現しました。ここでは、様々な主体の「関わり具合のデザイン」に注力しています。シェアハウス住人、家族向け賃貸の住人、シェア畑利用者、近隣住人は、互いに挨拶する程度でも敷地内に様々な人の生活や活動があるのは心地よいものです。畑の位置・大きさ・高さ、広場のデザインから内装のデザインに至るまで詳細に調整しました。こうした「互いの存在を感じ、認め合うという程よい距離の関係」を評価していただいたと考えます。

※ラーバン：Rural（田園的）と Urban（都市的）の合成語



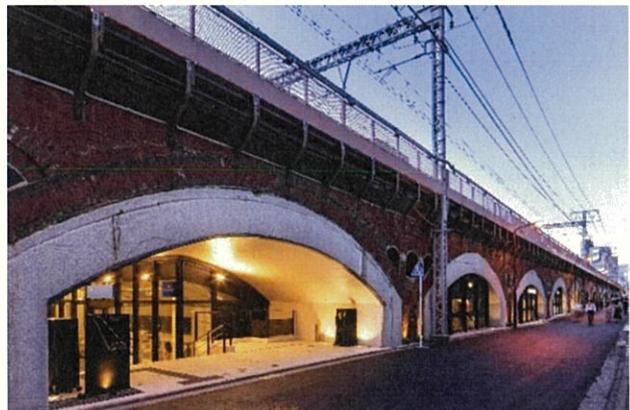
【グッドデザイン賞審査委員 評価コメント】

この計画は、社員寮を家族向け住宅とシェア型の賃貸住宅にリノベーションしたプロジェクトであるが、今後のストック社会に向けて多くの示唆を与えているプロジェクトとして高く評価したい。まず、既存の街並みを形成していた要素に注意を払い、新しい計画が立ち上がったときの唐突さではなく柔らかに風景の編集がされ、広がりのある爽やかな街並形成に寄与している。それに加えて、既存建物とその外部空間には、最適なスケールと住人たちの距離感を作るように、ベンチや畑が丁寧に挿入され、それと結び付けられるように内部空間のキッチンが展開されている。既存建物への上書きの仕方が秀逸なのである。

■【**鉄道高架下の商業空間「日比谷 OKUROJI」**】は、有楽町-新橋駅間の鉄道高架下を 300m に渡り商業空間を開発したプロジェクトです。東京都千代田区という都心にありながら、時代から取り残されたようなネガティブ要素が多い環境であった高架下空間を「100 年前に誕生、そして次の 100 年につなげる」という方向性の下、現存する希少な煉瓦アーチや高架梁の曲線美などにあらためて光をあて、都市との回遊性と賑わいを生み出すことを目指しました。白く塗装されアッパーライトによって優しく照らし出された高架橋スラブと歴史を感じさせる煉瓦積みアーチ、マテリアルを制限した建築やベンチ、サインなど、歴史ある特別な高架下空間を活かした全体の調和が評価されました。

【グッドデザイン賞審査委員 評価コメント】

高架下の新しい商業空間。優しい光に包まれたアーチ空間が印象的だ。外光が届きづらく暗い高架下空間を白く塗り、効果的な位置に設置されたアッパーライトで空間全体を決して明るすぎない程よく優しい光空間としている。昔の煉瓦積みのアーチなど所々に時間を感じさせる架構が見え、白い空間との対比のバランスが良い。店舗のファサードのサッシは黒いスチールやベンチなど所々に使われている木であったりマテリアルも制御されており空間としての調和が取られている。歴史ある特別な空間を活かし、サイン計画など含め全てにわたりデザインが行き届いている点が高く評価された。



■【**コンポストで始まる循環の生活実装デザイン**】

は、(株)オレンジページの生活実用メディアとしての使命と DNA を活かし、コンテンツ作りにとどまらず、自らの実践をも通じて、コンポストを快適で豊かで楽しいライフスタイルとして定着させる取り組みです。「バッグ型コンポスト」を開発・販売するローカルフードサイクリング(株)、コミュニティや公共空間・地域との連携など街づくりに取り組む「みなと一く」とともに、都市で生ごみを捨て

ないコンポストのある暮らしをオレンジページ誌面や WEB コミュニティを中心にお伝えするとともに、オンラインセミナーや行政と連携した社会実験なども実施しています。今回、コンポストそのもののデザインだけでなく、多面的なアプローチで生活者の敷居を下げ、楽しく続けられる「生活実装」デザインを評価していただいたとともに、今後の公共への広がり期待されています。

The Orangepage Inc.

コンポストで始まる循環  
生活実装デザインのソーシャルインパクト

家庭の食循環  
デザイン

- ・自社キッチンで出る生ごみで実践
- ・WEBコミュニティで活動記
- ・生活者の声収集、フィードバック
- ・オンラインセミナー実施
- ・自社通販でコンポスト販売
- ・誌面で情報発信



地域での循環  
デザイン

- ・地域と連携し、近隣公園の花壇で堆肥活用(花の色が他より綺麗との由)
- ・行政と連携し、コミュニティコンポストの社会実験



【グッドデザイン賞審査委員 評価コメント】

関心は持ちながらも、維持管理するのが大変な印象から始めるハードルが高い印象があったコンポストに対して、コンポストそのもののデザインや情報設計、コミュニティづくりによって手軽さと安心感を与えることに成功しています。実際に周囲にもユーザーが複数人いて、楽しく続けられているようです。今後予定されているコミュニティコンポストの導入や行政との連携により、地域コミュニティや教育機関など、より公共的な動きにもつながっていくことを期待しています。

※グッドデザイン賞について

グッドデザイン賞は、1958年に通商産業省（現経済産業省）によって創立された「グッドデザイン商品選定制度」を承継して、1998年より財団法人日本産業デザイン振興会が主催する、わが国で唯一の総合的デザイン評価・推奨制度です。

**リノベーションによる多世代居住の場づくり [リエットガーデン三鷹]  
2021年度グッドデザイン・ベスト100受賞！  
他3プロジェクト「グッドデザイン賞」受賞で、12年連続受賞に！**

**集合住宅の一棟まるごとリノベーション [リノア北赤羽] /**

**アートホテル [KAIKA 東京 by THE SHARE HOTELS] / 集合住宅 [リビオレゾン THURSDAY 調布]**

社会、くらしをリノベーションし、あなたと環境にとって豊かな未来をつくる株式会社リビタ（本社：東京都目黒区、代表取締役社長：川島 純一）は、株式会社ジェイアール東日本都市開発との共同事業であるリノベーションによる多世代居住の場づくり [リエットガーデン三鷹] において、「2021年度グッドデザイン・ベスト100」（主催：公益財団法人日本デザイン振興会）を受賞いたしました。その他、集合住宅の一棟まるごとリノベーション [リノア北赤羽]、アートホテル [KAIKA 東京 by THE SHARE HOTELS]、集合住宅 [リビオレゾン THURSDAY 調布] の3つのプロジェクトにおいても「2021年度グッドデザイン賞」を受賞。本受賞をもって、12年連続のグッドデザイン賞受賞となりました。今後も、くらしを、産業を、そして社会全体を、より豊かなものへ導く「よいデザイン」を目指して、リノベーション事業に取り組んでまいります。



GOOD DESIGN  
AWARD 2021

**BEST  
100**



(右上) リノベーションによる多世代居住の場づくり [リエットガーデン三鷹] (左下) 集合住宅の一棟まるごとリノベーション [リノア北赤羽]  
(中下) アートホテル [KAIKA 東京 by THE SHARE HOTELS] (右下) 集合住宅 [リビオレゾン THURSDAY 調布]

## 2021 年度グッドデザイン・ベスト 100 受賞

### 【中～大規模共同住宅・寄宿舎カテゴリー】リノベーションによる多世代居住の場づくり

#### 【リエットガーデン三鷹】

JR 東日本の社員寮を改修した 24 戸の家族向け賃貸住宅と 112 室のシェア型賃貸住宅による多世代居住施設です。都会と田舎の良さを併せ持つ敷地に相応しい豊かなラーバン・ライフを実現するために、シェア畑や通り抜けによって、さまざまな人々の気軽な関わりを生み出すとともに、内装では ゆとりある洗練されたデザインを実現しました。



▲オープン時に開催したまちびらきフェスの様子



▲シェアラウンジとリラックススペース(1階)

#### 〈グッドデザイン賞審査委員による評価コメント〉

この計画は、社員寮を家族向け住宅とシェア型の賃貸住宅にリノベーションしたプロジェクトであるが、今後のストック社会に向けて多くの示唆を与えてるプロジェクトとして高く評価したい。まず、既存の街並みを形成していた要素に注意を払い、新しい計画が立ち上がったときの唐突さではなく柔らかく風景の編集がされ、広がりのある爽やかな街並形成に寄与している。それに加えて、既存建物とその外部空間には、最適なスケールと住人たちの距離感を作るように、ベンチや畑が丁寧に挿入され、それと結び付けられるように内部空間のキッチンが展開されている。既存建物への上書きの仕方が秀逸なのである。

#### 〈デザインが生まれた理由/背景〉

- ① 人口縮小時代に入って久しい昨今では、空き家も増え、再開発そのものの意義も問われています。今回の敷地では、建て替えも選択肢に入りましたが、数十年後を見越して地域と共生できる開発のあり方を考えた時に、必ずしも建て替えが良いとは言えませんでした。容積率いっぱいの新築によって周囲を圧迫するのではなく、巨大な空地を残すことで地域全体の価値を保つような手法こそ、これからの時代に相応しいと考えました。
- ② また東日本大震災以降は、地域のコミュニティやつながりについても議論の場や実践事例が増えましたが、時にこれらは、努力を必要とするつながりを生みかねません。地域や人ごとに「自然なつながり」は異なるものであり、プロジェクトごとにそれを問い直すべき時期に差しかかっているとと言えます。今回の計画は、こうした背景から、住人や地域の人など、この場所に関わる人々の「関わり具合」も意識的にデザインしました。

#### 〈事業関係者〉

プロデューサー：株式会社ジェイアール東日本都市開発 富樫伸夫+株式会社リビタ 川島純一  
株式会社成瀬・猪熊建築設計事務所 成瀬友梨、猪熊純+株式会社長谷工リフォーム 守谷一志  
ディレクター：株式会社ジェイアール東日本都市開発 大竹涼土、中村洋輔  
株式会社リビタ 鈴木佑平+株式会社長谷工リフォーム 関口淳一、生島純一  
デザイナー：株式会社成瀬・猪熊建築設計事務所 成瀬友梨、猪熊純、長谷川駿（元所員）  
株式会社長谷工リフォーム 小村直樹

■WEB サイト：<http://www.jrtk.jp/lieto-garden/>

ReBITA

お問合せ、ご質問、取材のお申込み、画像・素材のお貸し出し  
株式会社リビタ PR コミュニケーションデザイン部 宮嶋・田村  
Tel:070-8697-3188 Fax:03-5656-0070 Mail: pr@rebita.co.jp